



想いを編む

～カンボジア カゴのブランド化で支援に依存しない生活を～

池宮聖実

今日話すこと

- ・ 現在の活動を始めようと思ったきっかけ
(世界を周って)
- ・ 現地の人と共に働き始める。
日本人の頭で入り大失敗
- ・ 本当の幸せを、現地の人と共に考える



商品紹介



- ・カンボジアとベトナムでしか育たない植物
- ・ニス塗らなくても艶がありささくれが少ないように品質を上げる
- ・水で洗っても大丈夫

今のmoily

2018年

1月 阪神百貨店

3月 カンボジアへ
岡山企画展

4月 **直営店オープン**
東京都美術館
福岡岩田屋本店
阪急百貨店
二子玉川企画展

5月 福岡イベント
大阪展示会
東京企画展

6月 名古屋松坂屋
京都高島屋
静岡企画展

7月 大阪企画展
岐阜企画展
横浜企画展
阪神百貨店

8月 阪神百貨店

新宿伊勢丹

9月 名古屋百貨店
札幌百貨店

日本橋高島屋

10月 阪神百貨店



映像へ



カンボジアにて 自分の目で見なければリアルは絶対にわからない

世界中でボランティア





ケニアにて 友達1人すら助けられない悔しさ。
職業の選択肢の大切さを痛感



ネパールにて 「この村をよくするのはあなたたちの仕事でしょう？」

2011年、3年後に起業を決意して帰国

- ・世界に収入の選択肢を作る。
- ・支援に頼らず商品力で勝負できる商品を作る
- ・おしゃれで可愛いブランドで商品を販売する

2014年いざカンボジアへ

moilyの由来

moi=1 (クメール語)

ly=英語



人間という
一つのまとまりで十分

2014.1 いざカンボジアへ



自転車で商材を求めて走り回る日々

かご屋を発見



日本とカンボジアの往復を
繰り返し、少しずつ販売量と生産量を上げていく



2014.6右腕登場!!

カゴ編みを始める村も決定!!ついに活動開始!!



1. 少しでも高品質の商品を
2. 少しでもたくさんのカゴを
3. 少しのズレも許さない

1年かけて人間関係や、仕事を任せる準備を。 2015.6失敗

失敗した理由

- ・ 日本人の頭のままカンボジア人と接してしまった
(収入ができれば幸せになれると勘違いした)
- ・ 品質と納期にこだわりすぎて、現地の方の根底にある大切にしている想いや気持ちの部分を無視してしまった
- ・ カンボジアやその村の文化を無視して私のやり易いやり方を押し付けてしまった

もう一度初めから。



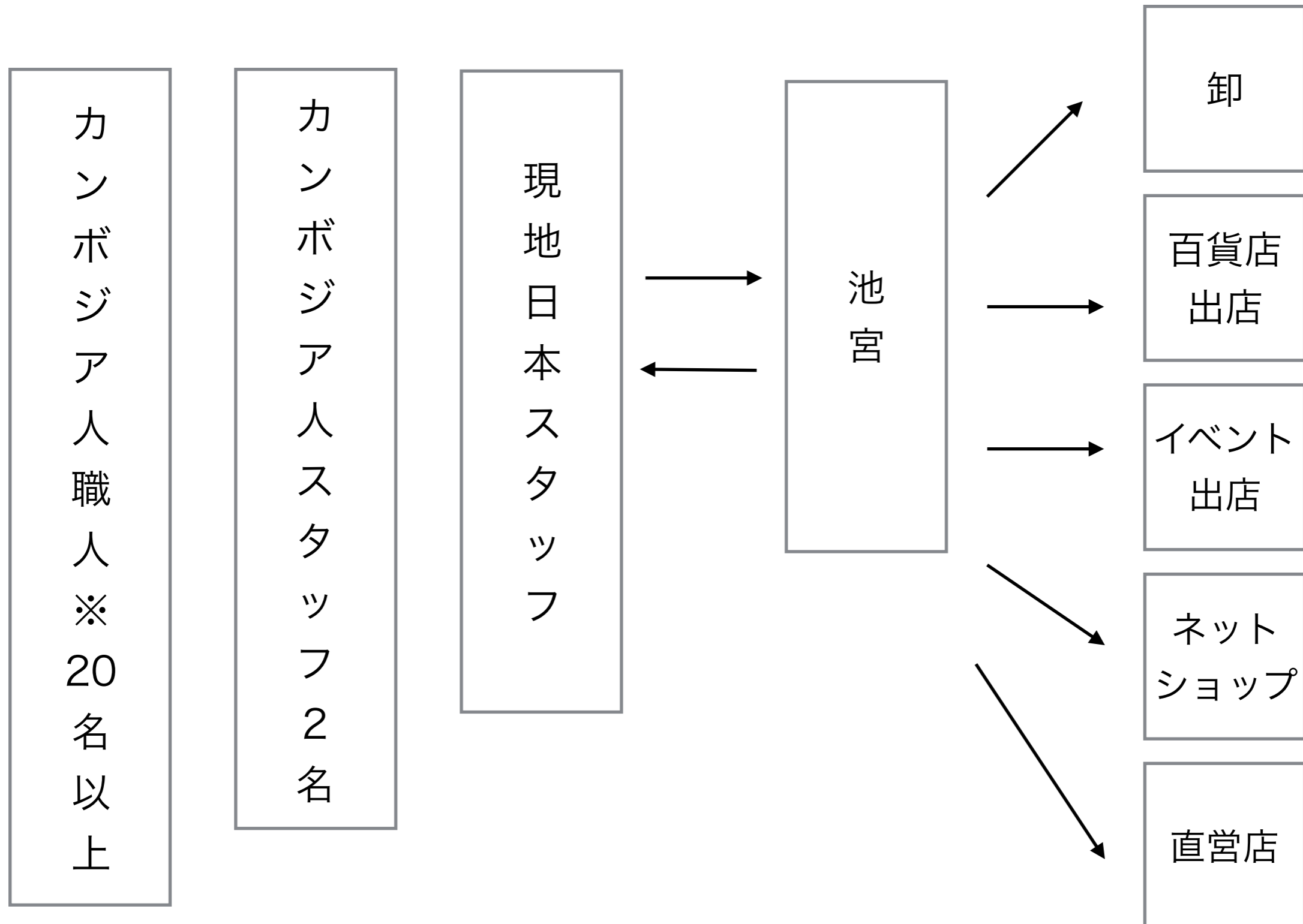
日本で考える幸せの形は当てはまらない

新しい村に入っていく



新しい村の人たちに受け入れられるために

moilyの体制



品質と納期を守るために

- チェックの基準を明確に。
なぜチェックをするのか。
誰がチェックをするかが重要
- 納期は日本サイドの都合であることを忘れない。
プールしておく。なるべく現地の人に負担をかけない。
それでも生産が必要な場合は。。。
- 全て買取。次の週には現金手渡し。給料制ではない

現状の変化

- ・ 収入が増えて、町の人々の給料の倍ほどももらう人も出現
- ・ 廃れかけていたカゴ編みを学ぶ若い子が誕生
- ・ 収入が欲しい時だけ来る人も現れる
- ・ 全体的にレベルが上がり職人同士で指摘し合うように
- ・ いつも険悪だった買取チェックに笑いが起きるように

こんな活動も



車椅子を渡す



医者を村に派遣

moilyの考えるものづくりとは

本当に稼げて、今後も稼げる。

かつ、moilyがいなくても稼いで

いける村になるのが最終目標。

